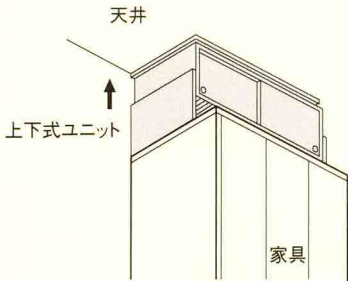
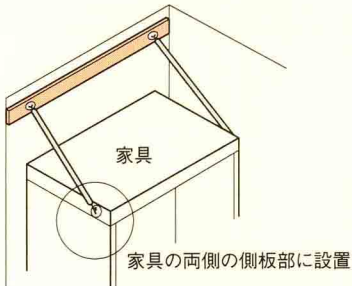


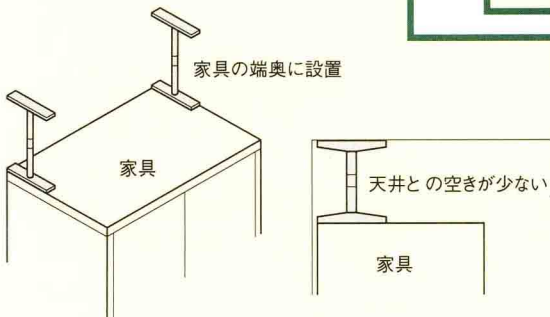
④ 棧に固定できない場合の固定方法



高さを調整しながら天井と家具を支える上置型すき間埋め収納ユニット



家具の上部が、鴨居や横木から離れていてやむを得ずベルトやチェーンなどを使って固定する場合は、家具の側面に30°以下の角度でピンと張る。たるみがあると効果は出ない



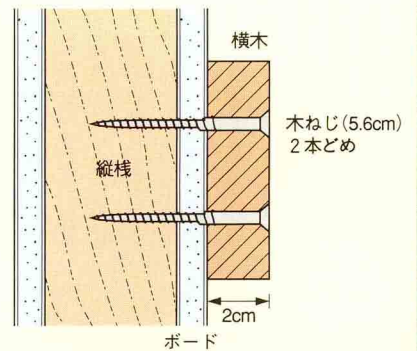
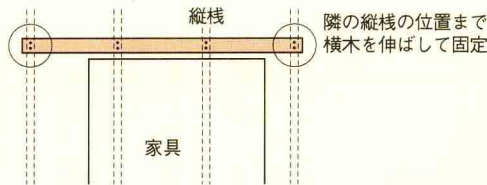
突っ張り棒タイプのものを利用するには、天井に家具を支えるだけの耐力がないと危険。また、しっかりした天井の場合でも、天井とのすき間が少なく奥行のある家具でないと、大きな効果は期待できない

「家具転倒防止等の手引き」より

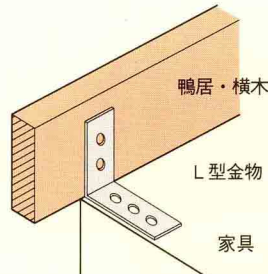
高さを調整しながら、突っ張った広い面で天井と家具との間を支えるタイプです。
また、衣装ケースなどを家具の上に置く方法もあります。この場合は、ゴムシートなどを敷いてすべらないように注意すること、天井との間にすき間が生じないように新聞紙などをしっかりと挟み込まないと効果はありません。
なお、家具と天井の間を広い面ではなく点で支える、いわゆる突っ張り棒タイプのもは、家具と天井との間が大きく空いている場合や、奥行きのない家具に使用しても、あまり確かな効果は期待できない場合があるので、注意しましょう。やむを得ず使う場合は、図のように、家具の両端の奥に取り付けます。

② 鴨居や横木への固定方法

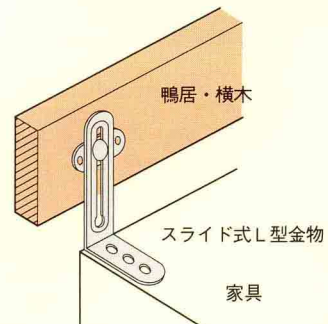
横木は、45cm間隔の壁の縦棧に長さ5.6cmの木ネジ2本(30cm間隔の場合は木ネジ1本)でしっかりと取り付ける。ただし、横木の幅は70%以上、厚さは20%以上とする。また、家具を横木に固定するには、基本的にL型金物を使うが、横木と家具の高さが揃わない場合(10cm未満)は、スライド式L型金物を使用する



45cm間隔の縦棧に横木を取り付ける場合

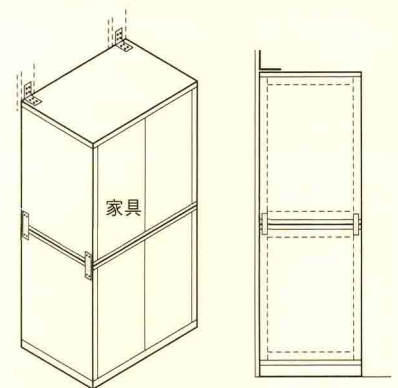


鴨居や横木が金具の上端と同じ高さの場合



鴨居や横木が家具の上端から10cm未満の寸法で離れている場合

③ 積み重ね家具の固定方法



家具の内側で固定する方法もあるので、家具の専門家に相談するとよい